

『あそびのレンズ』上映会IN町家キャンパス

龍谷大学

人権問題研究プロジェクト



11月16日 (土) 14時～16時40分

14:00～15:30 『あそびのレンズ』上映

15:50～16:40 おしゃべりタイム

定員：20名 ※事前申し込み制

参加費：無料

遊び場あります

竈 (かまど) でご飯も炊きます

子連れ
参加歓迎

<https://forms.gle/aEfrYiv2FuJYqppX9>

お申し込みはコチラ

会場：龍谷大学 深草町家キャンパス

〒612-0889 京都府京都市伏見区深草直違橋6丁目303

京阪本線「藤森駅」から徒歩5分



プレーパークに集うお父さんお母さんが映画製作！ 子育て世代に届ける「あそびとくらし」のメッセージ



introduction

プレーパークという、ちょっと変わった遊び場を知っていますか？ 昨今の公園で議論にもなっている「木登り禁止」「ボール遊び禁止！」などの規制が、プレーパークにはありません。そのモットーは「自分の責任で自由に遊ぶ」。プレーパークで遊んでいる子どもたちは「遊び心」がたっぷりて、とても生き生きしています。

そこに集うお父さんお母さんが「あそびのレンズ」映画プロジェクトを始動。映画なんか見る暇も無いくらい家事に育児に追われているはずの人々が、映画製作に乗り出すというのは並大抵のことではありません。同じように子育てをしている全国の家庭、そして地域の人にあそびとコミュニティの繋がりの大切さを伝えたいという想いから、映画製作のノウハウも無い素人集団が映画製作へと舵を切ったのです。

そうして2年ごしに出来上がった映画が「あそびのレンズ」。ありふれた日常に確かにある子どもの遊びを鮮やかに描き出すと同時に、大人が現実と葛藤しながらも遊び心を取り戻す過程を、ファンタジックかつ美しく手触りのある映像で綴っています。



story

吉田みずき(緑茶 麻悠)は、夫の日向(荒木 貴裕)と3歳の娘ふうこ(真鍋 碧)の3人家族。夫の転勤で、昔住んでいた東京に引っ越してきたばかりだ。大手企業に勤める夫の帰宅は夜遅く、子どもが産まれてからは、必然的に日中の家事・育児はみずきが担っている。知り合いの少ない東京に来てからもふうこと二人、近くの公園に通う毎日を送っていたが、なかなか町に馴染むことができない。

そんな日々を過ごしていたある日、一本の電話がかかってくる。昔の同僚で今は大手の出版社に勤務する室伏薫(儒河)から、新刊雑誌のデザインの仕事の依頼だった。兼ねてから仕事に復帰したいと考えていたみずきは、二つ返事で依頼を受けるが、指定された打ち合わせはなんと翌日。急いでふうこの預け先を探したが見つからず、結局一緒に打ち合わせに行くことに…

あそびのレンズ

あそびのレンズ
公式サイト



監督：佐伯 龍蔵

原案・企画プロデューサー：植田 泰 脚本：佐伯 龍蔵/植田 泰 音楽：松本 雅隆(ロバの音楽座)/田中 馨(チリンとドロン)

出演：緑茶 麻悠/真鍋 碧/荒木 貴裕/柿本 真美瑛/儒河/荒木 秀行/鈴木 拓真/岡谷 未来/グ スーヨン(特別出演)

山崎 久美子/御田 亜季子/安藤 勝信/関戸 博樹/浅川 七緒美/鎌村 麻衣子/天野 漢/瀬上 恵美子/青山 紗々

撮影：道川 昭如/無州 英行 録音：宋 晋瑞/丸池 嘉人 衣装・メイク：平林 純子 美術・装飾：西村 立志 特殊美術：長田 道夫

スチール：王生 真理子 造形アニメーション：上乗 直子 アニメーション：緑茶 麻悠 広報：相原 里紗

主題歌：「ディン・ドン・ダン」チリンとドロン&しみずけんた

製作：ピオキッズ実行委員会 配給：株式会社シナプス

2020年/日本/91分/DCP/ビスタサイズ

この作品は「公益信託 世田谷まちづくりファンド」の助成を受けています



asobinolens.com

『あそびのレンズ』上映会 IN 町家キャンパス

自由な遊び場であるプレーパークから人々の暮らしを描いた映画『あそびのレンズ』の上映会を行い、龍谷大学深草町家キャンパスという地域の場で、居場所と遊びをつくる力について考えていきます。

主催：龍谷大学 人権問題研究プロジェクト 共催：こころ・からだ・くらし相談室ハルジオン
協力：京まちや 七彩コミュニティ